

2023年度 JCの価値再考会議

議長予定者 嶋村 浩伸

1. 運営方針

明治初期、人を運ぶ手段は人力車でした。しかし、世界的に自動車が広く普及し、大変化の時代を迎え、より早く目的地に顧客を届ける事において人力車は時代遅れとなりました。ですが、人力車は今も尚健在し、活躍を続けています。人力車の本質は、その土地の魅力を知り、その土地の人を知り、その土地の時間を有意義に過ごす事にあります。そこで人力車は輸送業から観光業に力を入れ、当時と変わらぬ姿で今尚活躍を続けているのです。2001年度社団法人日本青年会議所土屋会頭の所信の冒頭にこのような言葉があります。「自分が何者であるか？そしてどこにいるのか？今、改めて確固たる自己を確立すべき時である。」

熊谷青年会議所の先輩諸兄姉はいつの時代も地域の課題に向き合い、様々な事業を展開しながら「明るい豊かな社会」の実現に向けて運動を起こしてきました。人と人が磨き合うJCだからこそ、様々な視点を通し、インパクトある運動が生まれ、地域に対して多くの実績を残してきました。しかし、近年在籍メンバーは減少の一途を辿り、JCとは何か、地域にどのような影響を与えられるのか、その様なJCの本質を伝えられるメンバーも減ってきました。近年の熊谷青年会議所は、先輩方から伝え聞く伝統に継り、正しい知識を学ぶ機会の優先度は決して高いとは言えません。国際青年会議所の使命は、「より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展、成長の機会を提供すること」です。私達が熊谷青年会議所に所属している事で自分自身にどのような変化を生む事ができるのか。より良い運動を起こす為に、何をしなければいけないのか。限られたJC生活を全力で過ごす為に、今一度、JAYCEEとして必要な知識を学ぶ機会が必要だと考えます。

JCは「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、その為に「社会と人間の開発」を事業目標に掲げました。そして、開発により起こる社会変革のプロセスを「JCによる市民の意識変革」と定めて推進しています。そこで本年度JCの価値再考会議では、意識変革を起こす手法を学ぶ場を構築して参ります。また、JCが仕事、会社、家庭、地域、大きくは国家や全世界に密接に関わっている事を学び直す機会を設け、メンバー自身のJCに対しての存在価値を高めて参ります。実生活との関わりを理解し、対象者に意識変革を与える手法を得る事でJAYCEEとしての成長を促し、より良き明日を目指して参ります。

時代の波は常に変化を求めてきます。昨今叫ばれる多様化の中、その変化に柔軟に対応していくべき事もあれば、変えてはいけない事も明確にしなければいけません。私達が生きる今を全力で全うする為に、本質を見失う事無く、自分自身の言葉でJCを伝えられるメンバーが私達の理念に共感していただける賛同者を増やし、熊谷青年会議所は今以上に地域から必要とされる組織として「明るい豊かな社会」の実現に邁進して参ります。

2. 事業計画

- (1) JCI日本公認プログラム「Purpose」の実施
- (2) JCI公式コースの実施
- (3) 事業を企画し、自身の言葉で伝えられる機会を創出する